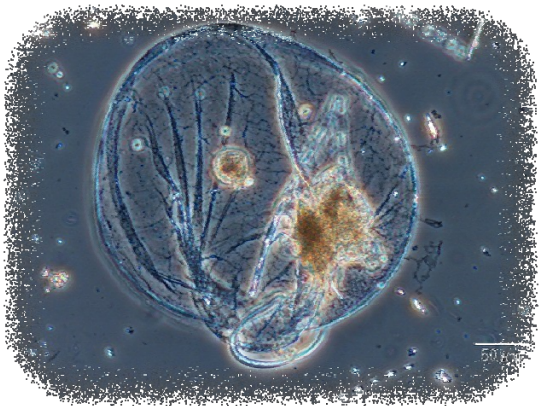
1. 川崎港の生きもの調査

川崎の海には、どんな生きものがすんでいるのか、みなさんは知っていますか？ 海には水中を泳ぐ魚のほかに、海底にすむエビやカニ、泥の中にすむゴカイや岸壁についている貝、海の中をただよっている小さなプランクトン、ワカメやアオサといった海藻など、いろいろな生きものが暮らしています。川崎港の生きものを調べた結果、魚介類調査では約100種類、海底の砂や泥の中にすむ底生生物（ベントスともいう）は約50種類、岸壁や岩など硬いものにくっついている付着生物は約100種類、プランクトンは約90種類、海藻類は約10種類みつかりました。

海の上から眺めただけではわからないけれど、川崎港には、こんなにも多くの生きものがすんでいるのです。